

上岡議員、中曾議員が聴く 中高生の思いが明るく照らす 地域の活性化と未来

表紙写真／八本松住民自治協議会 文化部会の皆さん

八本松住民自治協議会文化部会では、文化祭等のイベントの運営に中高生の「未来かがやき隊」が加わって活動されています。人材不足や伝統行事の継承という課題に挑みながら、地域をもっと好きになり、未来の地域活性化の担い手にと期待されています。世代を超えて取り組む皆さんに活動内容を伺いました。

プロフィール



八本松住民自治協議会
会長 土久岡 章治さん



八本松住民自治協議会 文化部会
副部長 田原 美保さん



八本松住民自治協議会 文化部会
事務局長 中曾 瑛美さん



八本松住民自治協議会 文化部会
未来かがやき隊 上野 翔伍さん



八本松住民自治協議会 文化部会
未来かがやき隊 山下 聡仁さん



八本松住民自治協議会 文化部会
未来かがやき隊 前迫 麻凜さん



八本松住民自治協議会 文化部会
未来かがやき隊 赤宗 希星さん

「未来かがやき隊」 新たな繋がりで地域の未来を照らす

Q 文化部会の活動と取組みについて教えてください。

土久岡 八本松住民自治協議会には8つの部会があり、文化部会は「ふるさと文化祭」や「とんど祭り」といった地域行事を担当しています。八本松すべての地域で行われていたとんど祭りは、実施する地域も少なくなりましたが、小中学生が伝統に触れる貴重な機会として、中学校のグラウンドをお借りして行い、伝統行事の継承をしています。これらの行事は長く地域の皆さんに親しまれてきましたが、住民自治協議会の発足から10年を

経て、人材の確保・育成が課題の一つとなっています。これからは、地域貢献を軸に部会活動を充実したいと思っています。

Q 「未来かがやき隊」の活動を始められたきっかけと、これまでの歩みについて教えてください。

中曾 地域行事に「未来かがやき隊」の皆さんが関わることによって「自分も地域の一員だ」と感じて、八本松をもっと好きになってもいいかと考えて活動を始めました。メンバー自らがコーナを企画・運営するなど、主体的な取り組みへ広がっています。現在、中高生30人の登録があります。

田原 私は、八本松で生まれ育ち、八本松に住み続け、子どもも生まれ子育てもしています。全身全霊で「アイラブ八本松」です。「未来かがやき隊」の皆さんも、より深く八本松を愛し



- ① 「未来かがやき隊」の皆さん
- ② ふるさと文化祭の打ち合わせ
- ③ ビンゴゲームの進行
- ④ 未来かがやき隊のゲームブース
- ⑤ 取材風景

てもらい、未来の地域活性化の担い手となるよう育成をしながら、一緒に活動しています。

Q 未来かがやき隊の活動を通じて、皆さんはどのようなことを感じていますか。

上野 ふるさと文化祭では、自分たちで屋台を運営して、お客さんに喜んでいただいたのが嬉しかったですし、やり遂げたときの責任感や達成感はいかがえないものです。自分も楽しみなが、人に喜んでもらえるのはすごくいい経験でした。地域と関わり続けることは、人として成長するために大切だと思います。

山下 活動はとても楽しいですし、こういう経験を積めて、なおかつ、地域に貢献できるのは大きいと思っています。高校生活は一度きりなので、勉強だけじゃなくて今のうちにこういう経験しておきたいと思っています。

赤宗 私は八本松小学校の子ども祭りから参加しました。普段関わっている小学生も、運営す

る側になり、立場も変わると接し方も変わり、難しいこともありましたが、先輩が優しく教えてくれてすごく楽しかったです。

前迫 生まれ育ったこの八本松で、地域の方々と一緒に何かをやれるのはすごく楽しくて、いい経験になっています。何より地元の人々と一緒に活動できることが、一番楽しいと感じています。

Q 今後、地域や行政に望むことはありますか。

前迫 西高屋駅にある情報ハウンジのような施設が八本松にもあれば、放課後や休日に気軽に集まれる居場所となり、若者が地域とのつながりを保ちやすくなると思います。

上野 夏祭りは、地元の子どもや同級生が集まる大切な機会ですが、年に一度しかありません。本来は地域で工夫して取り組むことだと思いますが、行政が新しいイベントを後押ししてくれると活動の幅が広がると感じています。